《純正部品》
替しん

TTS-33

トヨ耐熱しん 第33種

石油燃焼機器用しん 取扱説明書

●しんの交換をする前に、必ずこの「取扱説明書」を読んで、正しくおこなってください。（しん交換のしかたがわからない場合は、販売店にご相談ください。）

商品コード	11283707	品　　名	タイネツシンクミタテ

適合する機器の型式表	参照
■トヨストーブ RS-D29D･W29E、NT-D29D･W29E AS-D29D、CS-D29D KTP-E2913、AH-W29E	①

替しんの型式名	トヨ耐熱しん第33種
呼　び　寸　法	φ85×2.5
種　　　　類	普通筒しん
からやきの可否	からやき可

JIS S 2038
石油燃焼機器用しん

品番：8451000680

株式会社 トヨトミ
ホームページ　http://www.toyotomi.jp
本　　社　〒467-0855
名古屋市瑞穂区桃園町5番17号
フリーコール 0120-104-154
TEL 〈052〉822-1144
FAX 〈052〉822-2742

製造　SILVER SIM　　8451000686　　E-⑧

■特に注意していただきたいこと（安全のために必ずお守りください）

ここに示した事項は ⚠注意 を表示しています。

⚠注意：この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

❗ マークは「指示」　🚫 マークは「接触禁止」

⚠注 意（CAUTION）

★適合する機器の確認
適合する機器の型式の呼びが合っていることを確認してください。
予想もしない事故が発生するおそれがあります。
確認

★保護具の着用
機器の分解時は、保護具（手袋など）を着用してください。
誤ってけがをするおそれがあります。

指示

★高温部に注意
必ずストーブを消火し、ストーブの温度が充分に下がってからおこなってください。
やけどのおそれがあります。

接触禁止

★乾電池を取りはずす
必ずストーブの乾電池を取りはずしてからおこなってください。
やけどや感電のおそれがあります。

指示

★廃棄するとき
交換したしんは乾燥させてからビニール袋に入れて廃棄してください。
廃棄処理の際、予想しない事故が発生するおそれがあります。
灯油の廃棄処分は、灯油をお買い求めになった販売店にご相談ください。

指示

お 願 い（NOTICE）

★しん取り付け後の確認
- しん上下操作をして、しんの上下が円滑にでき、しんの高さが規定寸法どおり均一にそろっていることを確かめてください。
- 対震自動消火装置を作動させて、しんが確実に下がることを確かめてください。
- 点火操作をして、正常に燃焼することを確かめてください。

★変質灯油や不純灯油に注意
変質した灯油、不純灯油、汚れた灯油、水のまじっている灯油などを使用しないでください。
異常燃焼や故障（点火しにくくなる、しんが下がらなくなる、火が消えなくなる、など）の原因となり、しんの寿命が短くなります。

★この耐熱しんの上端部は、特殊な材料の繊維を使用していますので、糸のほつれ程度を切るだけで先端を「はさみ」などで切らないでください。
★しんを交換したときは、給油後、約２０分以上待って、しんに灯油が充分に吸い上げられてから点火してください。充分に吸い上げられていない状態で点火しますと、しんを傷めます。

適合する機器の型式表 の 参照 ① の機種

1 油タンクと、電池ケースから乾電池を取り出してください。

2 **「緊急消火ボタン」**を押して、対震自動消火装置を作動させてから、ガードを開いて、燃焼筒を取り出してください。

3 しん調節つまみを引き抜いてください。

4 本体の両側面と背面にある止めねじ３本を、左に回して取りはずしてください。本体を前方に傾けながら、ゆっくりと上方に持ち上げて取りはずしてください。

5 油受けざらにある油受けを取りはずし、市販の給油ポンプで、油受けざら内の灯油を抜き取ってください。
- **残った灯油は、布切れなどで吸い取ってください。**
- **取りはずした油受けを元通りに油受けざらにセットしてください。**
- **置台と油受けざらの隙間のほこり、ごみを取り除いてください。**

6 しん調節器の蝶ナット４本を、取りはずしてください。
- **蝶ナットが回しにくい場合は下図のようにドライバーなどを使って、回して取りはずしてください。**

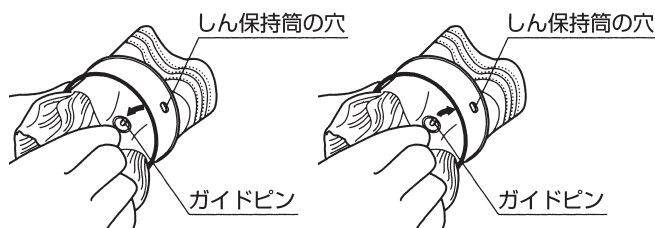
7 しん調節器を、ゆっくりと上へ持ち上げて取りはずしてください。

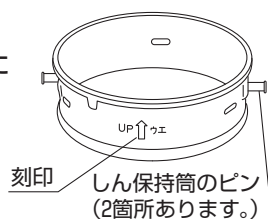
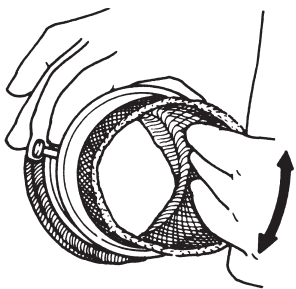
8 取りはずしたしん調節器を、給油時消火装置のアームの上に載せて給油時消火装置のアームを押し下げてください。

9 ハンドルジクにしん調節つまみを取り付け、右方向「↻」に必ず止まるまで回して、しん保持筒を最大まで上げてください。

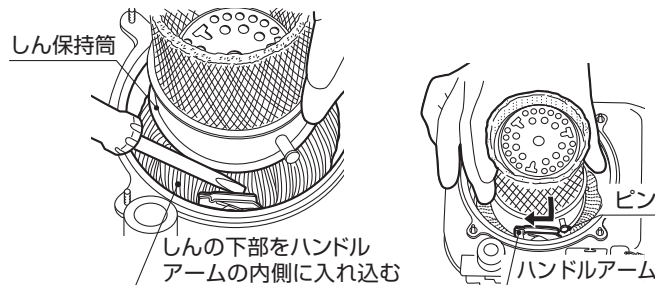
10 しん保持筒を持って、ハンドルアームの溝から、しん保持筒のピン（前後に２箇所あります。）を左（↺）に回して取りはずしてください。

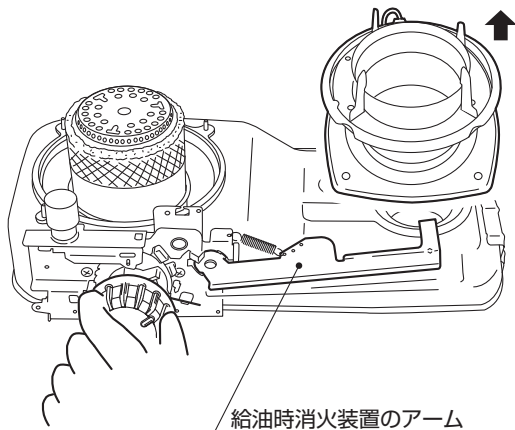
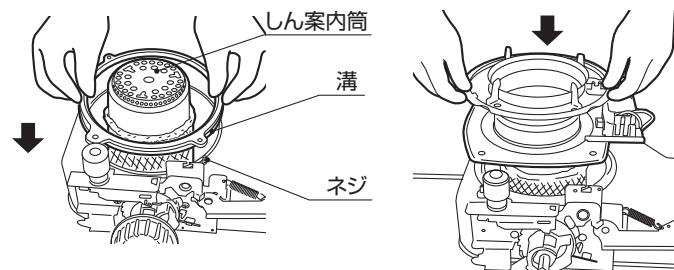
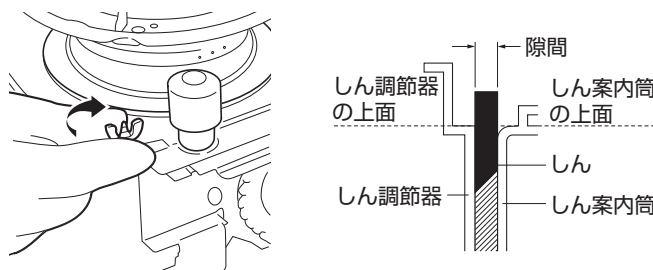
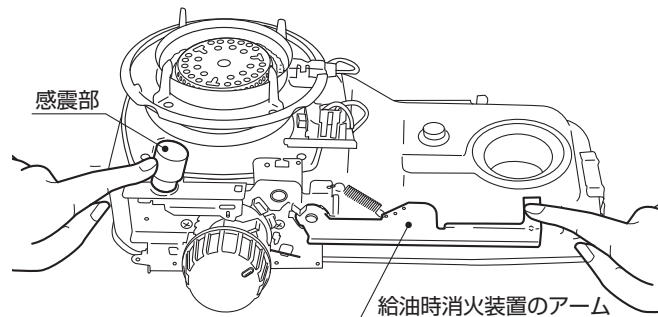
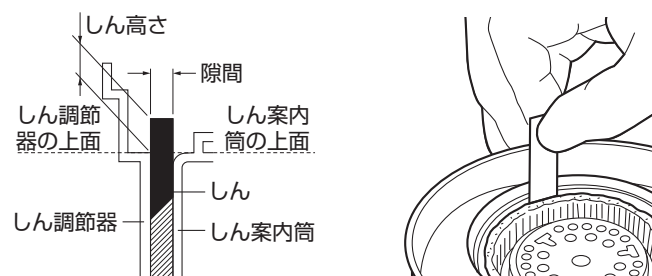
お願い
抜け止めのために、少し回りにくい箇所がありますので、指を滑らせてケガをしないように、慎重におこなってください。

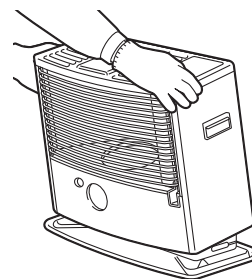
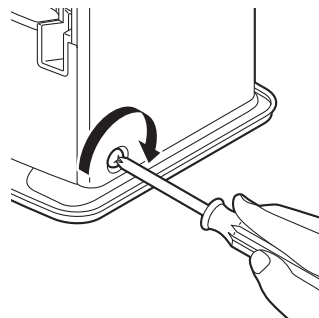
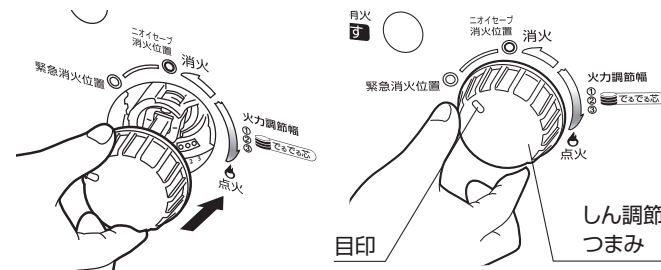
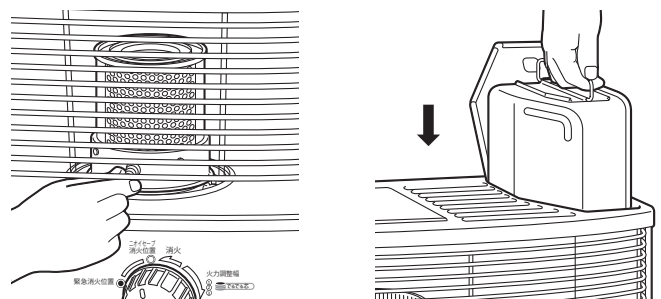
11 古いしんを4つ折りにするようにして、しんのガイドピン（3箇所）をしん保持筒からはずし、しんを下へ引き抜いてください。
新しいしんを、軽く4つ折りにするようにして、しんのガイドピンを、しん保持筒の穴（3箇所）に差し込んでください。

お願い

しん保持筒には上下がありますので、刻印を確認して、間違えないようにしてください。

12 しんを、しん保持筒の内側に指で押しつけてなつかせてください。充分になつかせないと、対震自動消火装置が作動したときに、しんが下がらないことがあります。

13 しん調節つまみを右方向（↻）に止まるまで回してから、しん案内筒に、しん保持筒を取り付けたしんを差し込んで、しん案内筒になつかせてください。
ハンドルアームの溝（前後2箇所）に、しん保持筒のピン（前後2箇所）を右（↻）に回してはめ込んでください。

お願い

抜け止めのために、少し回りにくい箇所がありますので、指を滑らせてケガをしないように、慎重におこなってください。

● **しんの下部をハンドルアームの内側に入れ込んでください。**

14 しん調節つまみを回わして、しんが上下にスムーズに動くか確認してください。
しん調節器を持ち上げたとき給油時消火装置のアームが上がり、しんが最下点まで確実に下がる事を確認してください。

15 しん調節器パッキンの溝が、油受けざらのネジに確実に入っていることを確認してから、しん調節器をしん案内筒にかぶせてください。

16 しん案内筒としん調節器のすき間が全周揃っている所で、1ページ**6**項ではずしたしん調節器の蝶ナット4本を、対角線上の各々2本づつ均等に締めてください。
片側のみを締め付けるのではなく、4本を均等に徐々に締めてください。
しん調節器の上面としん案内筒の上面の高さが、揃っていることを確かめてください。
● **揃いが悪いと炎が片寄ってしまいます。**

17 給油時消火装置のアームを指で押し下げながら、しんを上げてから「感震部」を押して、対震自動消火装置を作動させ、しんがスムーズに確実に下がるかどうか、2～3回確認してください。

18 しんの高さは、標準で約8㎜です。（でるでるつまみが①の時のしんの高さです。）しんの高さが、均一に揃っていることを確かめてください。
右上のしん高さ確認ゲージを使用して、しんの高さを確認してください。

● **しん上端の糸のほつれ等は、はさみなどで切り揃えてください。**

19 しん調節つまみを引き抜いてから、本体を前方に傾けながら、ゆっくりとかぶせてください。

20 本体の両側面と背面を、止めねじ（3本）で固定してください。

21 しん調節つまみの目印を**「緊急消火位置」**に合わせて、取り付けてください。

22 燃焼筒をしん調節器の上に正しくセットし、ガードを閉じて、油タンクを入れてください。乾電池を電池ケースに⊕⊖を正しく合わせて入れてください。

23 油タンクに給油してから20分以上待ってしんに灯油が充分に吸い上げられてから点火操作をして、各部がスムーズに動き、正常に燃焼することを確認してください。

■しん高さ確認ゲージ

しんの高さを測るときは下図を破線の部分で切り取ってください。